

### Ⅲ. 2016 年度事業実績詳細

#### I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

##### 1. 市民主体の国際交流活動推進事業

###### (1) 情報サービス事業

###### ◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分け発行した。情報発信を基本的なコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ①協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ②在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③地域で生活する外国人へ多言語での情報

日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を前面に掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部の高校生ボランティアにお願いした。(日本語版：A4版4ページ2色刷り [85号～97号] 各月1700部)

また、外国人向けには8言語(基本的に英語、中国語、韓国朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)で事業案内や生活情報を発信した。(多言語版：A4版4ページ2色刷り [2016年4月号～2017年3月号] 各月700部) ※3月号よりフルカラー

###### ◆多言語メールニュースの配信

月1回(基本的に毎月第1金曜日)、メールニュース配信希望者には多言語ニュースレターの内容を8言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)でEメールにて配信した。(2017年3月時点のメールニュース配信数219人)

###### ◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の提供と収集事業。言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行い、新たにネパール語の新聞とフリーペーパー「ハラルライフ」が閲覧できるようにした。また、昨年度に引き続き半年毎に約100冊の多言語書籍が豊中市立図書館より団体貸出され、図書館との連携のもと図書の実質化を図った。これらの、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成に努め、市民が利用しやすい環境を整えた。日本語能力試験等の検定試験受験を希望する外国人のためのサポート用のテキストや学習支援「学楽多」での教材購入を行った。民族衣装はボランティアが衣装修理を行い、利用者の多い韓国の楽器を点検、購入した。

###### ◆図書類(外国語図書(絵本)含む)

貸 出		貸出件数(件)	増 刷		購入件数(件)
総 数		66	総 数		68
【内訳】	一般図書	18	【内訳】	一般図書	6
	外国語図書(絵本含む)	48		日本語学習関係	17
	<内>中国語	(27)		辞書類	4
	スペイン語	(2)		絵本(日本語)	18
	ネパール語	(3)		資料	2
	タイ語	(11)		外国語図書(絵本含む)	11
	ポルトガル語	(1)		学習教材	10
	フィリピン語	(4)			

◆定期刊行物

内 容		購入点数(単位：冊)	フリーペーパーなど(単位：誌)
定期刊行物	日本語新聞	3	
	雑誌・機関紙等	1	5
	外国語新聞	4	4

◆民族楽器、民族衣装、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計：
貸出件数)	12	2	5	19
購入 (件数)	0	7	12	

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、利用期限を区切り自由に個人的な情報交換ができるようにした。

利用件数：31 件

◆ホームページ

協会のホームページの随時更新（協会の年間ホームページ訪問者数 19,859 件、多言語での情報提供ページの訪問数は 1,369 件）。

主催事業などの新着情報を随時更新した。日本語及び多言語のニュースレターを毎月発行後にホームページ上でも読めるよう掲載した。イベント情報を外国人向けに多言語で随時更新した。新聞記事も随時掲載した。

◆SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

主に Facebook を利用し、毎日の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などをほぼ毎日継続して行った。協会の Facebook ページの「いいね！」数 628（昨年度より 98 増）。

◆ソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドウ)」

社会課題に対して「NPO・NGO」「企業」「消費者」の 3 者が協力をしているソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドウ)」に参加している。消費者が、目的に賛同する NPO や NGO に寄付で支援できるもの。今年度の支援金合計は 56,374 円だった。

◆プレスリリースの発行：毎月メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆無料インターネット利用：140 件（うち外国人 11 件）

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し／内 容
5 月 3 日	東京新聞	偽装離婚大国ニッポン
2 月 3 日	毎日新聞	比女性介護で過酷労働
3 月 10 日	静岡新聞	国際結婚シンポジウム

◆取材協力

- ・共同通信社（協議離婚問題について） 6 月 16 日、19 日、11 月 30 日に取材受入
- ・毎日放送（相談事業でかかわっている労働問題の訴訟について）7 月 17 日

（2）市民活動協働事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」の開催

センター登録グループや事業ボランティアによる実行委員会の主催で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。センターで活動する登録グループに成果発表の機会ともした。

実施日時	9 月 10 日（土）10：00～16：00	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ	3,200 人
内 容	<とよなか国際交流フェスタ> ・とよなか国際交流センターで活動する登録グループによる活動発表会 ・市民グループによるバザー・出店、エスニック料理 ・福祉のお店コーナー				

#### ◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会をつくり、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動がより活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を試みた。その後(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民公益活動協議体らつぷが参加、市民ネットきずなの解散を経て現在の6団体となる。

2016年度は、情報発信の手段として6団体それぞれの活動報告や事業案内を掲載した「壁新聞」(19～21号)を発行した。今年度の壁新聞も、各発行ごとに共通のテーマ(秋のイベント案内/2016年度の新たな取り組み/2016年度の振り返り)を決め、中間組織としての役割に関する記事を掲載するなどの工夫を行った。

会議実施日	内 容 (場所)
4月28日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
6月30日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
8月12日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞19号」発行
9月23日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
10月20日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
12月15日	5団体打合せ(市民活動情報サロン)、「壁新聞第20号」発行
2017年1月26日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
3月末	「壁新聞第21号」発行

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するために、地域で活動する国際交流市民団体・グループの運営側面支援の取り組みを以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「とよなかJSL」「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援、及び両者が実施する事業と連携して子どもの日本語と就労をめざす外国人のための日本語サポート事業を協働で推進した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
6月12日、7月24日、8月28日、10月16日、3月12日	とよなか国際交流センター登録グループとの連絡会議を5回開催し、実行委員会形式を重ね、地域の国際交流団体がともに考え創る「第2回とよなか国際交流フェスタ」を2016年9月10日(土)に開催することができた。また、2017年度も実行委員会形式をもって、さらに充実した「第3回とよなか国際交流フェスタ」を9月上旬に開催することを決めた。 市民団体の環境向上及び登録団体の活動の発信等にむけ、関係団体へのヒアリングを始めた。

#### ◆しょうないREKへの協力

2005年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が立ち上げられた。(しょうないREKはR:Recycleリサイクル、E:Eventイベント、K:かわら版を合わせた造語)。特に豊中市南部地域での連携を重点化するため、実行委員会に定期参加し、瓦版の執筆やイベントへの参加を行った。

2014年度から引き続き、庄内にて外国人親子を対象とした高校進学説明会に関わった。しょうないREK事務局や教育委員会関係部署と共に中心的に運営を行い、昨年度以上の参加や機関連携が実施できた。また、「世界の庄内音楽ワークショップ」(豊中市主催、1月11日～2月24日開催)と「世界のしょうない音楽祭」(しょうないREK・豊中市主催、2月25日開催)について、外国人の参加者の呼びかけや、韓国のサムルノリ演奏グループ・ペルーのダンスグループなどのステージ発表者の紹介を行った。

##### ●しょうないREK実行委員会

開催日	4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、9月15日、10月20日(欠席)、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日(欠席)、3月16日(欠席) (計11回、うち9回出席)
場 所	庄内図書館

●その他の取組

- ・外国人親子に向けた高校進学説明会@しょうない開催（庄内公民館） 7月10日 13:00～16:00
- ・「ええやん！しょうない瓦版〈4月号〉」子ども事業・子ども国際事業お知らせ掲載
- ・「国際交流フェスタ」古本バザー（とよなか国際交流センター）9月10日

◆市民団体との連携および運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

- ・国際交流センターの登録グループ（25団体）との連絡会議を5回開催し、ニーズの把握を行った。
- ・団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。また、国際交流センターの登録団体のページ作成及び意見交換を目的に、ヒアリングを始めている。さらに、市民団体の運営協力も行う他、市民団体との事業に共催・後援を行った。

◆その他

- ・今年度も昨年度に引き続き、市民活動情報サロンと男女共同参画推進財団ととよなか国際交流協会の三者による豊中駅前活性化を推進するために、「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ！」を企画した。相乗効果により、多くの人が駅前地区に足を運ぶこととなり、第2回国際交流フェスタにも多くの来場者があった。来年度も継続して企画運営することになっている。

（3）留学生ホストファミリー事業

◆世話人会定例会：メンバー12人 毎月第3木曜日 全12回実施

◆ホストファミリーボランティア数：登録家族121家族（うち新規登録26家族）

◆登録説明会 ※単位：家族

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族総合計
6月19日	20	11	26家族
3月12日	23	15	

◆留学生とのマッチング数 ※単位：組

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	16	49	65	79
JASSO	14	—	14	

◆交流会 ※単位：人

実施日	内 容	参加者数	留学生数	参加者総数
5月25日	万博で遊ぼう！日本庭園見学	75	33	108（30家族）
11月7日	ポットラックパーティ（すてっぷホール）	63	22	85（27家族）
	合 計	138	55	193（57家族）

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等 ※単位：人

実施日	学校名	内 容	参加者数
4月6日	大阪大学	春期対面式	52
5月9日	JASSO	対面式	50
8月5日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
9月9日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	3
9月23日	JASSO	打合せ	4
9月29日	大阪大学	秋期対面式①	52
10月5日	大阪大学	秋期対面式②	11
10月8日	大阪大学	秋期対面式③	58
2月16日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	1
2月24日	JASSO	来期についての打合せ	3
2月28日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
3月15日	JASSO	卒業式	2
		合 計	242

## ◆ニューズレターの発行（年2回）

<主な掲載内容>・特集（毎月号）／ホストファミリーと留学生の交流体験談／留学生コラム／いわせてあれこれ～交流に関するいろいろなお話～／活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	活動報告
7月7日	60号	世界のお料理レシピ ～アジア編～	ブラジル ミャンマー	大阪大学春の出会いの会、JASSO 大阪日本語教育センター対面式、ホストファミリー登録説明会、万博ピクニック
12月1日	61号	留学生の就職事情	マレーシア ギリシャ	とよなか国際交流フェスタ、大阪大学秋期出会いの会、ポットラックパーティー

## ◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加

9月10日「世界の飲み物&子どもコーナー」お手伝い

## 2. おとな国際事業

### （1）にほんご活動事業

#### ◆もっともつつかえるにほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん

日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営され、外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流をはかる場として週4日定着して開催した。また、5月と3月に日本語ボランティアの交流会を行った。

事業名	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数（うち外国人）	のべ実施回数
もっともつつかえるにほんご	月曜	10:00～12:00	919人（368人）	44回
とよなかにほんご・木ひる	木曜	13:30～15:30	1,504人（698人）	43回
とよなかにほんご・金あさ	金曜	10:30～12:00	3,632人（1525人）	48回
にちようがちゃがちゃだん	日曜	10:00～12:00	773人（466人）	38回
総合計			6,828人（3057人）	173回

#### ●交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数（うち外国人）
もっともつつかえるにほんご	5月9日	世界の料理	24（11）
	8月22日	そうめん体験	17（6）
	12月19日	お餅つき	26（13）
とよなかにほんご・木ひる	6月30日	料理会	44（24）
	12月15日	ポットラックパーティー	40（19）
	3月30日	遠足（くらし今昔館）	20（5）
とよなかにほんご・金あさ	6月3日	料理会	40（21）
	6月24日	七夕まつり	94（36）
	2月5日	豆まき、バザー	81（31）
にちようがちゃがちゃだん	10月30日	料理会	27（19）
	12月18日	お茶会	29（26）

#### ◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、岡町図書館、庄内図書館、千里図書館において、国際交流センター以外の公的な場で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

おかまち・しょうない・せんり/おやこでにほんごの参加者合計 1,309人（うち外国人 459人）

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館 3階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2016年4月12日～2017年3月21日までの39回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間(78時間)		
人 数	ボランティア登録者数(8人)、のべ参加者数(412人)		
うち外国人大人	70人	うち外国人子ども	62人
うちボランティア大人	166人	うちボランティア子ども	114人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月12日	おしゃべり会	11月1日	お話し会
4月19日	おしゃべり会	11月8日	倉庫の片づけ
4月26日	おしゃべり会	11月15日	今月の歌開始、ラジオ体操、かぎ編み
5月10日	おしゃべり会	11月22日	おしゃべり会、編み物練習
5月17日	おしゃべり会	11月29日	お料理会
5月24日	お料理会 ドイツパンプレッツェル	12月6日	みかん狩り
5月31日	お誕生日会	12月13日	エコタワシ作り
6月7日	絵本の表紙で手提げ袋作り	12月20日	お楽しみ会
6月14日	おしゃべり会	1月8日	ジンジャーブレッドとクッキー作り
6月21日	かぶと作り	1月17日	おしゃべり会
6月28日	お皿のペイント	1月24日	水餃子パーティ&おやこ同窓会
7月5日	おしゃべり会	1月31日	お誕生日会
7月12日	お料理会 キャラ弁当	2月7日	お料理会 豚まん、おかゆ
9月6日	おしゃべり会	2月14日	おしゃべり会
9月13日	おしゃべり会	2月21日	お料理会 豆腐ブラウニー、ベーグル
9月20日	"日本語の学習	2月28日	おしゃべり会
9月27日	新聞びりびり	3月7日	おしゃべり会
10月4日	おしゃべり会	3月14日	おしゃべり会
10月18日	七夕製作	3月21日	おしゃべり会
10月27日	ぞうさん公園で防災ピクニック		

●しょうない・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館 3階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2016年4月19日～2017年3月7日までの30回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間数(60時間)		
人 数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(294人)		
うち外国人大人	66人	うち外国人子ども	25人
うちボランティア大人	128人	うちボランティア子ども	75人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月19日	おしゃべり会	10月25日	Halloween パーティー
4月26日	おしゃべり会/被災地に送る本の仕分け	11月1日	おしゃべり会
5月10日	学資保険について勉強会	11月8日	ペーパーリースづくり おしゃべり会
5月17日	物々交換 おしゃべり会	11月5日	おしゃべり会
5月24日	おしゃべり会	11月22日	おしゃべり会
5月31日	おしゃべり会	11月29日	おしゃべり会
6月7日	出産祝いのおむつケーキ作り	12月13日	お正月の飾りつけ
6月14日	新V見学 おしゃべり会	1月17日	おしゃべり会
6月21日	新V見学 おむつケーキ続き	1月24日	おしゃべり会
6月28日	新V見学 おむつケーキ続き	1月31日	旧正月を祝う 中国の餃子を作って食べる
7月5日	七夕笹つけ	2月14日	おしゃべり会
7月12日	持ち寄りパーティー	2月21日	おしゃべり会
9月13日	おむつケーキ飾りつけ	2月28日	おしゃべり会
9月23日	Halloween パーティー打ち合わせ	3月7日	おしゃべり会
10月4日	おしゃべり会		
10月18日	おしゃべり会		

●せんり・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会室 他		
活動期間	2016年4月19日～2017年3月7日までの32回		
活動時間	毎週火曜日午前10時～12時、総活動時間数(64時間)		
人 数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(603人)		
うち外国人大人	146人	うち外国人子ども	90人
うちボランティア大人	280人	うちボランティア子ども	87人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月19日	おしゃべり会	10月18日	おしゃべり会
4月29日	お料理会(柏餅)	10月25日	工作(キャンディーBOX)、仮装
5月10日	物々交換会	11月1日	おしゃべり会
5月17日	おしゃべり会	11月8日	みかん狩り
5月24日	お料理会(キャラ弁)	11月15日	ヨガ教室
5月31日	講座「ゴミ収集」	11月22日	お料理会(湯葉、おにぎり)
6月7日	おしゃべり会、工作(紙トンボ)	11月29日	工作(冬のカード作り(切り絵))
6月14日	工作(プラバン)	12月6日	お楽しみ会@国流
6月21日	おしゃべり会、物々交換会	1月17日	書初め
6月28日	お料理会(そうめん)	1月24日	おしゃべり会、工作(凧)
7月5日	七夕会、お誕生日会	1月31日	お料理会(お汁粉、漬物)
7月12日	持ち寄り歓迎会、お疲れさま会	2月7日	工作(パレンタイン)
9月13日	講座「母語保持の必要性」	2月14日	おしゃべり会
9月27日	お料理会(肉まん)	2月21日	工作(コサージュ作り)
10月4日	講座「救命救急講習(乳幼児向け)」	2月28日	お料理会(稲荷ずし、デザート)
10月11日	物々交換会	3月7日	持ち寄り送別会

●フォローアップ研修

日 程	2017年1月10日(火) 午前9時半～11時
場 所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
講師	佐藤千佳(NPO法人多文化共生センター大阪)
テーマ	他団体による外国人母子支援について学ぶ
参加者数	24人

●職員研修の受け入れ

日 程	2016年9月8日(木)
内 容	豊中市職員2年目 福祉体験受け入れ
参加人数	のべ6人
受入先	「とよなかにほんご・木ひる」

◆豊中市及び大阪府の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会)

日 程	内 容	場 所
5月30日	識字日本語連絡会 会議	豊中市役所
10月16日	第27回「よみかき交流会 2016」	大阪府教育センター
11月16日	識字・日本語豊中連絡会 社会見学 見学先「国立民族学博物館」	国立民族学博物館
11月17日	夜間学級総合学習発表会	豊中市立第四中学校
1月13日	識字日本語連絡会 会議	豊中市役所
1月19日、20日、22日	識字日本語教室聞き取り調査(木ひる、金あさ、にちようがちゃがちゃん)	とよなか国際交流センター
2月10日	識字・日本語豊中連絡会 指導者研修会 講師:丸山敏夫 「識字・日本語ボランティアのためのブラッシュアップ研修」	とよなか国際交流センター
2月26日	識字・日本語豊能ブロック 交流会 テーマ「知りあう、つながる、学びあう」	箕面市立箕面文化・交流センター
2月27日	識字・日本語学習シンポジウム	マイドームおおさか

## (2) 多文化共生推進事業

### ◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人を対象に異文化にふれる機会づくりとして、また講師となる外国人のエンパワメントにつながる機会づくりとして世界を食べようを開催した。昨年度より、多文化共生推進事業として実施。講師は、地域在住の外国人が担当した。今年度は3回の開催。(会場はすべてとよなか国際交流センター料理室)

実施日	内容	参加者数 (うち外国人)
7月14日	第1回 ベトナム編	18 (3)
11月24日	第2回 モロッコ編	16 (1)
3月9日	第3回 ルーマニア編	16 (1)
		合計: 50 (5)

### ◆多文化・多言語セミナー

近隣地域在住の日本人向けに異文化理解・多文化共生理解促進のための講座を開催した。今年度は、フィリピンバターン州の教育関係者および保護者を講師に招き、現地の学校生活や教育事情などについて意見を伺った後、参加者との意見交流を行った。

実施日	内容	講師	参加者数 (うち外国人)
7月16日	フィリピンの学校を知ろう～現場の先生が語るフィリピン教育事情のいま～	モデスタ.B.アブランテスさん (教育委員会公立学校校区スーパーバイザー)、ミルナ.E.カスティッロさん (バターン州エミリオCベルナベ国立ハイスクール校長)、イメルダ.C.エストラダさん (バターン州ビヌカワン小学校ヘッドティーチャー)、ジュリー.P.パシレスさん (ガブリエラ女性政党地域コーディネーター)	37(9)

### ◆通訳派遣

中間支援組織を対象として、外国人の生活支援要請案件に通訳ボランティアを派遣するものである。2014年度にコミュニティ通訳ボランティア養成講座を実施し、その受講者をボランティアとして登録している。今年度継続登録をしたコミュニティ通訳ボランティアは5人 (英語3人、中国語1人、フランス語1人)。

今年度は豊中市社会福祉協議会から2件の要請があり、英語ボランティアを派遣した。

### ◆外国人のための茶道教室

地域の外国人が日本文化にふれる機会づくりとして、茶道教室を開催している。2015年度より、多文化共生推進事業として実施。12月からは「とよなかにほんご木ひる」の日本語交流活動のあとに概ね月1回のペースで「木ひる茶会」も開催している。(会場はすべてとよなか国際交流センター和室)

	実施日	参加者数 (うち外国人)
第1回	6月18日	7 (5)
第2回	3月4日	12 (9)
木ひる茶会 3回	12月1日、2月2日、3月2日	38 (13)
		合計: 57 (27)

### ◆外国のための武道体験

スポーツ振興事業団「侍プロジェクト」との共催事業として実施。スポーツ振興事業団とかかわりのある講師が外国人に向けて指導し、一緒に参加したボランティアとも武道を通して交流の場となった。空手、剣道の会場はとよなか国際交流センター、合気道は講師の厚意で道場へ出向いて体験した。

内容	実施日	参加者数 (うち外国人)
空手①	8月28日	26 (21)
空手②	10月23日	13 (7)
剣道	12月2日	9 (5)
合気道	2月13日	22 (15)
		合計: 70 (48)



### ◆国流シネマカフェ

今年度からの新規事業で、懐かしの映画を鑑賞し人権や多様性に関するあり方について、参加者同士の感想や意見交流を通して、多様な考え方や人間関係のあり方や社会的課題等についての新たな気づきにつなげる。

今年度は初年度ということで、計画的な日程や映画のニーズも図らずに3回上映会を行った。初回は5人しか参加がなかったが、2回目3回目には、参加者が15人を超えるようになった。後半期に参加者や職員・スタッフ等に映画の希望調査をし、次年度はその希望映画を上映することとする。開催日時は、5・8・11・2月の第3土曜日 18:30～20:30（場所はいずれも、とよなか国際交流センター）を予定している。

	日・曜・時間	映画の題名	参加者数（うち外国人）
第1回	8月19日（金）18:00～20:00・	カッコウの巣の上で	5（2）
第2回	11月26日（土）18:30～20:30	いまを生きる	16（7）
第3回	3月18日（土）18:30～20:30	ホテル・ルワンダ	17（2）
			合計：38（11）

## 3. 持続可能な地域づくり事業

### （1）メディア・リテラシー市民ゼミナール

#### ◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2017年2月11日（土）、18日（土）
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	のべ30人（うち外国人6人）
テーマ	メディアリテラシー入門講座 ～テレビがみせる「外国人」とは誰か～ （～「外国人」って誰のこと？～）
講 師	田島知之さん（京都府立大学非常勤講師）／登丸あすかさん（文京学院大学助教）
ワークショップ内容	・メディアリテラシーとは何か ・テレビを「分析」してみよう ・メディアが構成する「現実」 ・メディアが提示する価値観 ・トランプ大統領とメディアの在り方について ・映像言語を学ぶ（外国人像から）

①参加者同士の「対話の文化」を作ること、②参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、③マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。

2015年度に引き続き、「メディア入門講座」としてメディアリテラシーに初めて接する人にも参加しやすいような構成や日程（土曜日の午後の時間帯に二週連続開催）で開催し、昨年度より多くの参加があった。初めての参加者の中には、細かな分析作業やテーマ設定になれない人もいたため、2日目はより内容に工夫をこらした。ワークショップは、参加者同士の意見交流が活発で、映像分析に初めて取り組む人も多い中、充実した2日間となった。

### （2）持続可能な開発のための教育（ESD）・防災・地域貢献

国連が提唱し2005年から始まった「持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市（関係5課）と市民活動中間支援団体（6団体）が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。今後の活動について、昨年度の検討を踏まえ、今年度新たな10年に向けたESDとよなか連絡会議をスタートさせた。各構成団体の取り組み状況の共有を行い、さらにテーマを「子ども」にしぼって課題や今後の連携等について議論を行った。ESDセミナーは「こどもクッキング」と称して、3月26日、3月27日の2日に亘って開催した。26日は佐藤友紀さん（開発教育協会）を講師に迎え、添加物と栄養について実験とゲームを通して考えた。27日は三崎恵子さん（管理栄養士）を講師に迎え、冷蔵庫の余りものを使って栄養を考えた昼ご飯を作った。ESD活動の大切さと意義深さを「子ども」をテーマに再確認でき、連携を深めることができた。

◆2016年度 ESD とよなか連絡会議

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	構成団体&機関名
5月17日	12 (1)	とよなか国際交流センター	NPO 法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21、一般財団法人 とよなか人権文化まちづくり協会、一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人 とよなか国際交流協会、社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会、赤ちゃんからの ESD、豊中市[環境政策課、市民協働部千里地域連携センター、人権政策課、生涯学習課]
7月12日	13 (1)	環境交流センター	
9月2日	9 (0)	男女共同参画推進センターすてっぷ	
11月4日	10 (0)	豊中人権まちづくりセンター	
1月27日	11 (0)	とよなか国際交流センター	
2月24日	11 (0)	とよなか国際交流センター	
3月26日	29 (0)	環境交流センター	
3月27日	21 (0)	中央公民館	
合計	116(2)		

◆国際理解教育などの講師の派遣など <のべ64件、126人(21カ国)を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師(出身あるいは職員 の別を記載)	人数
1	5月10、17日	庄内子どもの杜幼稚園(国際理解)①	モロッコ	1
2	5月18日	ひろしま国際センター(ひろしま多文化共生連絡協議会における講演会)	職員	1
3	5月22日	生駒市図書館(外国にルーツを持つ子どもたちに関する取り組み)	韓国、職員	2
4	6月2日	大阪府立芥川高等学校(修学旅行事前学習)	台湾	1
5	6月6日	豊中市立第二中学校	職員	1
6	6月8日	豊中市立小中学校教育研究会	職員	1
7	6月8、16日	庄内子どもの杜幼稚園(国際理解)②	モロッコ	1
8	6月15日	灘高等学校(倫理:イスラームを学ぶ)	エジプト	1
9	6月16日	大阪府立福井高等学校(異文化理解・多文化共生)	中国、韓国、ネパール、パキスタン、タイ、ベトナム、フィリピン	8
10	7月1日	大阪府立長吉高等学校(ヒューマンライブラリー)	職員	1
11	7月1、4日	大阪府立刀根山支援学校・大阪大学医学部付属病院分教室①(小中学生向けの英語外国語学習)	ルーマニア	1
12	7月12日	大阪府立豊中支援学校①(英語学習)	フィリピン	1
13	7月7日	豊中市役所(こども政策課人権研修)	職員	1
14	7月19日	豊中市役所(人権政策課主催~外国人の抱える課題、今後に向けての取り組み~)	職員	2
15	8月2日	とよなか国際交流センター(千里高校スーパーグローバルハイスクール講座)	職員	1
16	8月9日	豊中第四中学校(豊中市教員2年目研修)	職員	1
17	8月31日	豊中市立克明小学校①(教員向け運動会ダンス指導)	職員	1
18	9月5日	豊中市立克明小学校②(小学1・2年生向け運動会ダンス指導)	職員	1
19	9月27日	TIFA 日本語ボランティア研修	職員	1
20	9月29日	とよなか国際交流センター(多文化共生社会にむけたとりくみ・とよなか大学院)	職員	1
21	10月1日	和歌山県・打田生涯学習センター(日本語ボランティア養成講座)	職員	1
22	10月4、11日	庄内子どもの杜幼稚園(国際理解)③	モロッコ	1
23	10月12日	大阪市立南小学校(中国文化にふれる)	中国	1
24	10月6日	豊中市立桜井谷東小学校(多文化共生教育「人にやさしいまちづくり」)	職員	1
25	10月8日	八幡屋地域識字・日本語交流教室養成講座	職員	1

26	10月15日	摂津市立第三中学校（大阪府教職員組合研究集会分科会「国際連帯と在日朝鮮人教育」）	職員	1
27	10月21日	摂津市立老人福祉センターせつつ桜苑（摂津いきいきカレッジ「外国人問題について」）	職員	1
28	10月25日	池田市役所（池田市人権リーダー養成講座）	職員	1
29	10月28日	豊中市立克明小学校③（生活科いのちの学習）	職員	1
30	11月4、8日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）④	モロッコ	1
31	11月5日	豊能地区教育改革フォーラム（ちがいを豊かさに出会いをぬくもりに）	職員	1
32	11月11日	豊中市立第六中学校（福祉・ボランティア学習）	日本	1
33	11月12日	すてっぷ（豊中市子ども未来部子ども政策課・ライフデザイン支援公開講座）	職員	1
34	11月12日 12月17日	八幡屋地域識字・日本語交流教室「親子参加型教室」フォローアップ講座	職員	1
35	11月24日	大阪府立豊中高等学校（異文化交流 HR）	ベトナム、エジプト、韓国、フィリピン、ルーマニア、中国、タイ、モロッコ、職員	9
36	11月25日	大阪市立阿倍野市民学習センター（あべの日本語読み書き教室 公開ボランティア研修）	職員	1
37	11月28日	淀川区子ども・子育てプラザ（外国にルーツのあるファミリー応援講座）	ペルー	1
38	11月29日	桜井谷小学校（1年生「いろいろな国のあそびや歌を知ろう！～多文化共生～」）	マレーシア、中国、ベトナム、タイ、フィリピン	5
39	12月1日	大阪府立池田高等学校（多文化共生）	エジプト、韓国、フィリピン、ルーマニア、中国、タイ、モロッコ、職員	9
40	12月2日	大阪市子ども家庭支援員現任研修（外国にルーツのある親子に出会うとき～実際の支援を考えよう～）	職員	1
41	12月2、13日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）⑤	モロッコ	1
42	12月6日	大阪府立豊中支援学校②（英語学習）	フィリピン	1
43	12月14日	大阪府立千里高等学校（相互理解講座）	韓国、エジプト、フィリピン、ペルー、パキスタン、中国	6
44	1月13日	山下めぐみ園（いろんな国、いろんな文化との出会い）	フィリピン	1
45	1月17日	長吉高等学校（「自分らしさ」とは...）	職員	1
46	1月18日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）⑥	モロッコ	1
47	1月24日 2月8、9日	豊中市立蛭池小学校（多文化共生教育）	ペルー、モロッコ、職員	3
48	1月24日	大阪府立豊中支援学校③（英語学習）	フィリピン	1
49	2月7日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）⑦	モロッコ	1
50	2月9日	くらしかん（ESDネットワーク・若者が抱える課題と国際交流協会の取り組みについて）	職員	1
51	2月10、17日 3月10日	とよなか国際交流センター（府外教ホームページ「世界のこんにちは」収録）	ネパール、中国、韓国、フィリピン、ベトナム、ブラジル、ペルー、タイ、インドネシア、ロシア、フランス、モロッコ、日本	14

52	2月12日	千里北町近隣センター（コミュニティ政策課より・地域在住外国人とともに暮らすとは、多文化共生など）	職員	1
53	2月17日	とよなか国際交流センタ（豊能地区市外教研修会）	職員	1
54	2月20日	市立豊中病院（人権研修～外国人が抱える課題について～）	職員	1
55	2月23日	千里文化センターコラボ（日本語ボランティア養成講座）	職員	1
56	2月23日	豊中市立豊南小学校（十中校区英語コアスクール研究発表）	ペルー、ブラジル、フィリピン、ベトナム、イギリス、オーストラリア、中国、日本	10
57	2月23日	豊中市立文化芸術センター（豊中青年会議所・豊中市と国際について）	中国、ネパール、フィリピン、ペルー、フランス	5
58	2月28日 3月3日	大阪府立桜塚高等学校（韓国異文化研修事前学習会）	韓国	1
59	3月1日	大阪大学豊中キャンパス（未来共生セミナー）	職員	1
60	3月4日	八幡屋地域識字・日本語交流教室（教室運営にかかる課題や疑問などについて意見交換）	職員	1
61	3月6、8日	大阪府立刀根山支援学校・大阪大学医学部付属病院分教室②（小中学生向けの英語外国語学習）	インドネシア	1
62	3月8日	静岡市女性会館（外国人女性支援講座）	職員	1
63	3月9日	豊中市立千成小学校（多文化共生教育）	職員	1
64	3月22日	ぐーてん（講師の国のお話と交流会）	ペルー	1
合計				126

#### ◆その他

##### ●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月11日の買い物時に発行される黄色いレシートを客が地域の応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%が希望する品物で寄贈される。「ダイエー曾根店」にて参加している。

期間	金額	贈呈品
2016年 上期（2015.3～2016.8）	¥15,625	エプロン、陶器、文具
下期（2016.9～2017.2）	¥9,003	オーブントースター、ドライヤー、文具

##### ●「外国人児童生徒のためのJSL（Japanese as a Second Language, 第二言語としての日本語）対話型アセスメントDLA」使い方研修

学校現場や地域で子どもの日本語指導に関わる人などを対象に、文部科学省が開発した「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」の活用方法に関する使い方研修を、東京外国語大学との共催という形で実施した。関西を中心に、東海や九州からも参加者があった。

実施日	テーマ	主催	参加者数
3月3日 10:00～16:00	「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」使い方研修	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター（共催：公益財団法人とよなか国際交流協会、後援：豊中市教育委員会）	56